



# 奨学会だより

- 第1回伊藤喜美賞が贈呈されました。
- 平成17年度スポーツ振興事業贈呈式が行われました。
- 伊藤青少年育成奨学会の事業概要
- お便り紹介

シリーズ 第1回 この本をあなたにも薦めたい



財団法人  
伊藤青少年育成奨学会  
理事長 伊藤 喜美

## ●設立の趣旨

我が国のよき伝統や固有の歴史、文化や教育の在り方を継承、発展させるために積極的に取り組んだ個人または団体の諸活動が、青少年の健全育成に資するのみならず、地域における人づくりや相互理解、ひいては良い風土、文化や産業の向上などに大きく貢献したと評価されることに対して表彰する。また、現在支給している奨学生の中で模範となる学生やスポーツ振興事業を通じて支援した中から特に称讃に値すると考えられる行動や成果についても別途表彰の対象とする。

## ●賞の種類

最優秀賞(1点): 賞状および賞金(200万円)

優秀賞(3点): 賞状および賞金(各100万円)

特別賞(人数未定): 賞状と記念品および奨学金の延長による支援(大学院進級時)

(※選考の結果、該当者がいないこともあります)

## 第1回伊藤喜美賞が贈呈されました。

本年度より、日本の伝統や歴史文化・教育などに積極的に取り組む個人や団体を表彰する「伊藤喜美賞」が設けられた。記念すべき第1回伊藤喜美賞は、世界らん展で優れた成績を収めた県立恵那農業高校が受賞し、平成17年度スポーツ振興事業贈呈式と同時に開催された表彰式で、伊藤理事長より表彰状と100万円の目録が手渡された。同校の日頃の活動は、地域における人づくりや相互理解、良い風土、文化の向上などに大きく貢献している。また、特別賞として、平成13年度の第2期奨学生の桜井大介さん(現在名古屋大学大学院生)に対し、奨学金の延長による支援を行った。

## 伊藤喜美賞 受賞者の声



### 特別賞:

名古屋大学大学院 工学研究科  
航空宇宙工学専攻 修士1年

桜井大介

私は、現在、名古屋大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻に所属し、「エンジン内噴霧燃焼におけるNOx計測とその削減」というテーマで研究を行っています。最近実験を行うための噴霧燃焼器の設計を行いました。大学院生の生活は忙しく、講義の合間に研究を進め、帰りは深夜になったり、研究室や友人の下宿に泊めてもらうことも少なくないのですが、研究室の仲間や学部の頃の友人と楽しく過ごしています。また、研究や講義の息抜きとして愛・地球博に最近何度も出かけました。ほとんど知らなかった国の外国館や、日本を代表する企業の先端技術は魅力的なものばかりで、自分の研究に関わる展示などもあり、よい刺激になりました。



### 優秀賞: 岐阜県立恵那農業高等学校

このたびは、日頃の学習活動である世界らん展をはじめ、恵那市フラワーロード植え付け、有機農法によるキュウリ栽培、恵那市商店街ディスプレイ、阿木川ダム湖の浄化、農業クラブ活動等の評価をしていただき、名誉ある第1回伊藤喜美賞を賜り誠にありがとうございました。

今後も日々の学習に精進し、日頃お世話になっている地域の方々に少しでもお役に立てるよう頑張るとともに、専門知識をさらに磨き、その道のスペシャリストになるという目標達成に向けて頑張っていきたいと思っておりますので、一層のご指導とご支援をくださいますようお願い申し上げます。



# 平成17年度 スポーツ振興事業 贈呈式が行われました。

平成17年度のスポーツ振興事業には岐阜県内30校56クラブから応募があり、24校27クラブと「平成17年度全国中学校体育大会岐阜県実行委員会」が支援対象に選ばれた。7月6日の贈呈式には各校の校長ら約80人が列席。伊藤理事長は「資金援助を通して、健全で人間性豊かな青少年の育成に力を尽くしたい」と挨拶し、目録を手渡した。奨学金対象団体を代表して、ハンドボール部が全国高校総体に出場する岐阜北高校の岩田重信校長が「部活動充実のために大切に使います」と謝意を表した。

## 平成17年度 (財)伊藤青少年育成奨学会スポーツ振興事業被援助団体

### ①県下の高校運動部に対する資金援助

学校名	部名	金額(円)
岐阜北高等学校	ハンドボール	500,000
長良高等学校	サッカー	500,000
岐阜総合学園高等学校	バスケットボール(男子)	300,000
県立岐阜商業高等学校	陸上競技	300,000
	テニス	400,000
	水泳	300,000
岐南工業高等学校	バレーボール	300,000
岐阜工業高等学校	レスリング	400,000
華陽フロンティア高等学校(定時制)	バレーボール(女子)	200,000
岐阜盲学校	ゴールボール	300,000
清翔高等学校	ラグビー	300,000
岐阜第一高等学校	スキー	400,000
大垣東高等学校	水球	500,000
大垣西高等学校	アーチェリー	300,000
東濃実業高等学校	ボート	400,000
帝京可見高等学校	サッカー	400,000
瑞浪高等学校	硬式野球	300,000
土岐商業高等学校	ソフトボール	400,000
恵那高等学校	ボート	500,000
明智商業高等学校	弓道	300,000
中津高等学校	ウエイトリフティング	300,000
中津商業高等学校	陸上競技(駅伝チーム)	300,000
	硬式野球	300,000
中津川市立阿木高等学校	テニス	300,000
多治見西高等学校	水泳	700,000
中京高等学校	硬式野球	300,000
益田清風高等学校	陸上競技	500,000
合計 24校(27運動部)		10,000,000

### ②県下で開催されるスポーツイベントに対する資金援助

平成17年度全国中学校体育大会岐阜県実行委員会	1,000,000
-------------------------	-----------

## 伊藤青少年育成奨学会の事業概要

本奨学会は、学術、スポーツの各分野で、次世代を担う青少年の夢を育むために設立されました。現在までに、大学生奨学金、高校生部の活動、国際交流など累計2億1,664万円の経済支援を行っています。

1 名称 (財)伊藤青少年育成奨学会(理事長:伊藤喜美)

2 事務所 岐阜県多治見市大針町66-1  
(株)パロー本部2F 電話0572-20-0800

3 設立許可 平成11年12月27日(主務官庁:岐阜県教育委員会)  
現在第6年度事業実施中

4 設立の目的 学術、スポーツの各分野において、青少年の健全育成を目的として経済的援助を行い、社会に貢献できる有為な人材を育成すること並びに国際交流を推進することにより、我が国と外国との国際理解と親善に寄与することを目的とする。

5 基本財産 パロー創業者である伊藤喜美理事長の個人資産(パロー株式会社120万株=時価約41億円並びに現金4億円 総額45億円)を基本財産としています。

6 年間事業費 約5,000万円  
基本財産から生じる配当と利息並びにパローグループからの寄付金を合わせた金額約5,000万円を毎年寄付しています。

### 7 事業内容 I.学術

岐阜県出身 または県内在住で大学に在学する者のうち、人物、学力ともに優れ、かつ経済的理由により修学が困難である者に対する奨学金の支給

#### II.スポーツ

岐阜県下の高等学校運動部またはスポーツイベントに対する資金援助

#### III.国際交流

恵那市国際交流協会 が長年実施している中学生を対象としたオーストラリアとの交流事業への援助など

#### IV.その他目的を達成するために必要な事業

### 8 設立からの事業費

単位:千円

	奨学金	スポーツ	国際交流	その他	合計
平成12年度	4,800	12,600	3,000	500	20,900
平成13年度	9,600	10,700	3,000	500	23,800
平成14年度	21,600	6,100	3,000	200	30,900
平成15年度	28,800	10,000	3,000	600	42,400
平成16年度	25,560	10,000	13,000	1,300	49,860
平成17年度	28,680	10,000	3,000	7,100	48,780
累計	119,040	59,400	28,000	10,200	216,640

# お 便 り 紹 介

## 奨学金給付事業 **奨学生の声**

アボウ コノミ  
**安部 好**

千葉大学園芸学部緑地環境学科 平成17年度奨学生

このたびは伊藤青少年育成奨学会の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。採用通知を受け取り、たいへん嬉しく思うと同時に、ますます勉学に励まなくてはという、身の引き締まる思いでいっぱいです。

大学では農業高校で学んできたことを活かしながら、専門科目（緑地管理や緑地デザイン）の講義を楽しく受けています。

私の夢は、岐阜県の農業教員として地元に戻り、この大学で学んだことを、がんばっている農業高校生に伝えていくことです。また、高校時代にお世話になった地域の方々のお役に立てるようになりたいと考えています。



### 奨学会からのコメント

8月末、伊藤理事長との面談のため奨学会を訪問。将来は農業科教員として岐阜県に戻るつもりと語る。なにごとにも積極的な女子大生と見受けました。母校で教鞭をとってくれる日を私どもも首を長くして待っています。

ミノタニ リカ  
**蓑谷 理香**

可児市 中学事務教員 平成13年度奨学生

私は3月に無事大学を卒業することができ、現在は可児市で中学校の事務教員として働いています。東京での4年間の大学生活は今までとまったく違う環境で、楽しかったこと、辛かったことが多くありました。途中大学を辞めようかと悩んだ時期もありましたが、いろんな人に支えられて大学に通えていることに気づくことができました。今は大好きな岐阜県で就職することができ、とてもうれしく思っています。

しかし、私の働いている中学にも経済的理由で学費を払えない家庭が多くあります。そのような家庭を見ているからこそ、在学中に奨学金が大きな支えとなってきていたことを実感する毎日です。



### 奨学会からのコメント

斐太高校出身でお茶の水女子大学文教育学部を今春卒業し、可児市の中学校に就職してくれました。苦勞は、しただけのことはあるものです。大学時代の試行錯誤を糧に、後輩たちのよき相談相手になってやってください。

## スポーツ振興事業 **援助校の声**

岐阜県立岐阜北高等学校 男子ハンドボール部 一同 平成17年度援助校

このたびは貴財団伊藤青少年育成奨学会より多額の資金援助をいただき、誠にありがとうございました。昨年よりの目標である全国高校総体へのキップを手にするまでは、部員全員の並々ならぬ努力と苦勞がありました。たび重なる遠征宿泊など経費もかかり、今日の社会情勢のなか、経済的にも苦しい家庭もありました。



しかし、全国総体の出場を決めた瞬間、大きな感動を味わいました。今年の全国総体では、出場できない他校の分まで奮闘し、努力してまいります。

### 奨学会からのコメント

高校入学後、この競技をはじめめる部員も多くなき、2000年・2003年に全国総体、2004年全国選抜大会出場。本年度も全国総体へ出場し、ベスト16を果たしたそうです。惜しかった。あとひと踏んばりを期待しています。

岐阜県立中津商業高等学校 野球部 一同 平成17年度援助校

先日は貴会のスポーツ振興事業により、当野球部に多額の資金援助をいただきありがとうございました。早速、申請していましたがローイングマシンを購入いたしました。これはスポーツにとってもっとも必要とされる体幹部の筋力強化に有効で、基礎体力のアップを目指す部員たちは、朝に晩にこれで練習を行っております。



ねばり強く、しかも清々しい元気いっばいのプレイを、部員たちとともに展開していきたいと考えています。ぜひご期待ください。

### 奨学会からのコメント

甲子園への出場こそないが、春季東海大会で優勝の経験もある伝統校。平成16年度夏の県大会ではベスト4、秋季大会でも3位に入賞して東海大会に駒を進めています。切磋琢磨して岐阜県のレベルの向上に努めよう。

シリーズ

第1回

## この本をあなたにも薦めたい

司馬遼太郎の「坂の上の雲」これを読んで始めて明治という時代がわかったと思った。近代日本の原型が理解できたように思った。そしてなによりも手に汗を握る思いで読んだのである。多少の涙とともに。

文庫版の著者のあとがきに「たえずあたまにしているばく然とした主題は日本人とはなにかということであり（略）このながい物語は、その日本史上類のない幸福な楽道家たちの物語である。やがて彼等は日露戦争というとほうもない大仕事に無我夢中でくびをつっこんでゆく。最終的には（略）連中が、ヨーロッパにおけるもっともふるい大国の一つと対決し、どのようにふるまったかということを書こうと思っている。」

因みに司馬遼太郎が長篇を書く下準備に入ると、神田古書街から数千冊、トラック数台の古書が消えるといわれた。彼の著書を読むということは古書数千冊とそれに費やされた歳月を手中にできるということでもある。

そういう読書をあなたに薦めたい。なぜなら言葉なくして思考はあり得ず、思考なくして人格はあり得ない。良い言葉を学ぶことが人格形成の根幹であり、良い言葉を学ぶに読書にしくものはない。そうして思考、思索を深めてゆく。それもまた読書が良い導き手になってくれるだろう。

まずは良書を手にとってください。



「坂の上の雲」  
著者：司馬 遼太郎



財団法人  
伊藤青少年育成奨学会  
常務理事 田代 久美子

## “奨学会だより”でつなぐ夢の架け橋

わたしたち伊藤青少年育成奨学会と、奨学生のみなさん、運動部員のみなさん、そしてこれから奨学金を受けたいと希望しているみなさんをつなぐ架け橋として、この「奨学会だより」を発行することになりました。

わたしたち伊藤青少年育成奨学会は、郷土・岐阜の未来を切り拓く青少年のみなさんが、その夢を実現することができるようにと、平成12年から資金援助を行っています。

しかし、みなさんが目標にしている“夢”は容易に手に入るものではありません。実現までの道のりは長く、厳しく、途中幾度となく諦めを感じることも少なくないと思います。そんなときに、どこか遠くでがんばっているほかの奨学生のようすを目にすることができれば、きっとみなさんの励みに

なるのではないのでしょうか。

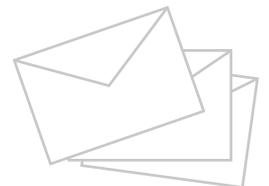
また、わたしたちの活動をまだ知らない方々もたくさんいるはず。経済的理由から将来に不安を持ち、夢を諦めようとしている仲間たちもいるかもしれません。そんな方々に、みなさんのがんばっている声を聞いていただきたい――

「奨学会だより」の発行にはそんな願いも託されています。

奨学生や奨学生OB・OGのみなさん。ともにごがんばっている仲間たちや、あなたたちに続く後輩たちのために、いまのあなたの気持ちをお聞かせください。不安を抱えていたあなたがこの奨学金で一縷の望みを待たのように、あなたの声を聞いて希望の光を見つける仲間がきっとどこかにいるはず。必ず。

### お便りをお持ちしています

伊藤青少年育成奨学会では皆様からのご意見・ご質問・感想などのお便りをお待ちしています。ハガキまたはE-mailで下記の宛先までお送りください。



財団法人 伊藤青少年育成奨学会事務局

〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661-1  
TEL 0572-20-0800(直) FAX 0572-29-1168

E-mail:webmaster@ito-zaidan.or.jp  
U R L:http://www.ito-zaidan.or.jp/  
発行:財団法人 伊藤青少年育成奨学会  
印刷:中日本印刷株式会社